

## 平成 30 年度 第 1 回可児市景観審議会議事録

- 1 開催日 平成 30 年 6 月 29 日 (金)      開会時間 14 時 00 分  
閉会時間 16 時 00 分
  
- 2 開催場所 庁舎 5 階第 1 委員会室
  
- 3 出席委員 景観審議会委員  
松本 直司 (会長)  
亀井 栄治 (副会長)  
伊藤 栄一 (副会長)  
林 則夫  
長谷川 彰  
義村 晃  
加藤 礼子  
近藤 あけみ  
橋本 和彦  
中根 範子  
可児 幹祥  
長瀬 敏博  
渡邊 雅美
  
- 4 事務局      建設部長      丹羽 克爾  
                 都市計画課長      渡辺 聡  
                 都市計画課 総務係長      杉山 尚示  
                 都市計画課 主事      川原 侑馬
  
- 5 会議内容      議事  
                 報告第 1 号 平成 29 年度景観まちづくり施策の取組報告について  
                 協議第 1 号 景観計画策定から 10 年にあたって  
                 協議第 2 号 屋外広告物適正化旬間の活動について  
                 その他

<p>6 会議の詳細</p> <p>渡辺都市計画課長 (以下「渡辺課長」)</p> <p>建設部長</p> <p>杉山係長</p> <p>渡辺課長</p> <p>松本会長</p> <p>松本会長</p>	<p>次のとおり</p> <p>(開会を宣言)</p> <p>力石委員、三宅委員は欠席であることを説明した。</p> <p>審議会開催にあたり挨拶を行った。</p> <p>答申事項がないため、議事録署名人の指名なしとし、事務局による記録を行うことの報告をした。</p> <p>進行を松本会長に委ねた。</p> <p>議事に入る前に、平成 30 年度第 1 回景観審議会(会長メモ)をご覧ください。復習の意味でご覧いただければと思う。景観計画が出来て 10 年になる。そろそろ景観計画を見直していく段階かなと、市も私も考えている。景観計画は景観法に基づくものであり、いつ変更しても良い。更新していくことが筋。</p> <p>審議会の役割、国の動向、岐阜県の現状等について説明した。</p>
<p>報告第 1 号 平成 29 年度景観まちづくり施策の取組報告について</p>	
<p>松本会長</p> <p>川原</p>	<p>報告第 1 号の議事について 事務局へ説明を依頼した。</p> <p>報告第 1 号 平成 29 年度景観まちづくり施策の取組報告について を説明した。</p>
<p>協議第 1 号 景観計画策定から 10 年にあたって</p>	
<p>松本会長</p> <p>川原</p>	<p>協議第 1 号の議事について 事務局へ説明を依頼した。</p> <p>協議第 1 号 景観計画策定から 10 年にあたって を説明した。</p>

伊藤副会長

緑は都市内緑化だけでなく、周辺の樹林地を含めた緑も含めて考えていくことになる。樹林地については林務関係、グリーンカーテンは景観というよりも環境の切り口から入ってくるケースが多い。景観的な視点だけではなく環境、観光等様々な視点がある。市の中でも取り組みをやっている部局はあるが、連携が取れているようにはみえない。例えば、森林計画の中で観光景観林という概念が持ち込まれている。観光に資する森林の整備の話が林務サイドからも出てきているが、まだ林務的な技術として確立されているものではないので、観光や景観という視点から林<sup>りん</sup>に対してこのような形に持っていきたい、というPRをしていただけると良いと思う。それぞれの行政資源を、グリーンカーテンならグリーンカーテンの中に上手く集約していけるような仕組みづくりをしていただきたい。どこがお金を持つのか、どこが主担当となるのかという問題もあると思うが。上手く色々なストーリーを持ち込んで、実際に取組めるようにしていただけると良い。

啓発について、現行の制度ですら上手く使ってもらえていない。制度について、良く知ってもらうことは大事。行政としても、10年を経て手直しの必要性を感じていると思う。制度を実際に運用した分かりやすいモデルをつくり、皆さんに見えやすい形にしていただけると良い。

大阪の地震でブロック塀の話が出ているかと思うが、民有地緑化の生け垣については、かつて宮城県沖地震等により「ブロック塀をどうしようか」という話の中で提案されてきたが、近年それが薄れてきていた。この期に、ブロック塀を改変していくために、現制度を活用してもらおうようなストーリー付けを行い、上手く利用出来るようになると良い。横断的な取り組みと分かりやすい取組みが為されると良い。

松本会長

緑の政策を上手く統合してやっていけると良い。また、啓発も何とか上手くやっていけると良い。

<p>長谷川委員</p>	<p>土田地域については外国人が多い。外国人労働者はこれからも増えるのではないだろうか。景観から考えると、ポルトガル語、中国語等で表記された看板が増えてきた印象。可児市の文化、可児市の各地域に適した景観が必要なのでは。</p> <p>屋外広告物については、許可されたもの、許可されていないものが、市民に「見える化」されていないように思う。申請された中で1番良かった広告物に対して表彰を与えるのはどうだろうか。製作者のモチベーションにも繋がる。良い看板について表彰をしていくことで、市民に対する「見える化」を図るのも手では。許可されたものについては、許可シール等が貼られているのか。</p>
<p>杉山係長</p>	<p>シールは発行する。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>シールについても、許可期間等が記載されているだけのモノではなく、可児市をイメージするようなモノになると良い。</p>
<p>松本会長</p>	<p>可児市の中には様々な地域がある。その特徴を捉えた各種景観施策があって良い。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>移り住み長い年月が経つが、ここに住み続けたいと思いつつも、未だに本当の意味で可児市について理解しきれていない、コミュニティの良さを味わえていないと感じている。正直、可児市はここが素晴らしいので、ここを伸ばしたら良い、というような提案があげられない。</p> <p>久々利は近年さらに良くなっているが、元々伝統があった場所。そうした場所とは違って、私は法令・条例整備がされる前に開発された団地に住んでいる。十分な歩道整備が出来ず、並木のような植樹をすることも出来ない。住んで美しくない、歩いて美しくない。景観以前に、総合的な法整備や開発者の良識等が無くして団地開発がされると後々大変なことになる。各地域それぞれが悩みを抱えているとは思いますが、最初がどれ程大事なの</p>

か、事の1歩がどれ程大切なのか、と感じている。買うのは個人なので、個人の責任という話も出てきてしまう。何百年も前に出来た団地ではない。現代の様々な課題が予測される時代に行なわれている。

また、駅周辺の緑化はどこに配慮されているのか、心配。緑化が全てでは無いが、今発展途上をしている間、もしくはその前に手を打たなければ、後々大変なことになる事は他にもあると思う。

最後に、私は今年からアメリカ留学に行く予定をしている。ニュージャージーに住むが、なぜニュージャージーの道路がこんなに美しいのか、なぜニュージャージーの自宅の庭はこんなに美しいのか。留学してくる間に、お世話になった岐阜県、そして可児市に対して、自分が役に立てることがあれば勉強してきたいと思っている。

松本会長

美しく特徴のある街にしていくために大切なことは、まず行政がしっかりとすること。そして、事業者もしっかりすること。さらに、市民はそれ以上にしっかりとする必要があるということだと思う。しっかりとするための提言を審議会で考えていければと思う。

街路樹を植えることについては賛成。自宅で植栽を行うことは管理等を含め大変。公で緑化していただくと良いが、臯ヶ丘のように、自分たちで公共空間の整備をしているところもある。個人の事情もあるし、行政としても予算があれば何とかしたいということかと思うが、予算が無い中でどうしていくかが課題。

近藤委員

何のために景観を考えなければならないのか、ということを考えてみると、私はこれから未来のある子どもたちが大切になると考える。賑わいや都会化を求めている訳ではなく、子育てのし易い笑顔溢れる可児市にしたい。緑についてお話が出ているが、緑がいっぱいということは環境にも、景観にも良い。

初めて朝顔のグリーンカーテンを見たとき、非常に感動したこ

	<p>とを覚えている。市が市民全体に働きかけをすれば、夏になるとどこの家でも同じような景色が見られる、そんなことが可児市ならやれると思う。そうした所から始めていき、緑の溢れるまちづくりをしていければ良いのでは。緑化以外のことでも、例えば、夏場ラジオ体操の時間になると可児市民は皆がラジオ体操を行う、そんな可児市にも出来ると思う。</p> <p>また、市内在住の外国籍の方がこれからも増えるのであれば、もう少し整理整頓等について指導があって良いと思う。</p>
松本会長	<p>子育てのし易い街、子どもに将来伝えたい良い景観をつくっていきたい、緑を豊かにしたいという想いだと思う。</p> <p>我々は物的な物を見て景観を感じるが、その物的な物に人の思い入れや優しさが入っていると、美しさを感じる。特に人工的な景観においては、慈しみ育てられた景観に対して、人の心の美しさを感じる。景観啓発を心の問題から広めていく必要があるかもしれない。</p>
中根委員	<p>市街地の開発が進んでいると感じる。可児駅前にも子育て支援の施設が完成した。緑についてのお話が出ているが、ラジオ体操が出来るような広い公園整備をしつつ、維持管理が出来る大きくなならない樹木を街路樹としていくのも良いと思う。可児市のまちづくりはこれから始まっていくと感じている。多治見市でも駅周辺の開発が進んでいる。道路の開発もこれから進んでいくと思う。</p>
松本会長	<p>桜ヶ丘や臈ヶ丘は日本に誇れる住宅地だと思う。景観と都市計画の関わりは深い。</p> <p>街路樹は是非植えていただきたいが、可児市は植えたくないのかなと感じる。市役所周辺の緑化状況からも感じる。</p>

<p>渡邊委員</p>	<p>可児市に移り住み子育てを経験したが、特徴が無いことが可児市の特徴だと感じている。都会でもなく田舎でもなく、非常に子育てのし易い所だと思う。</p> <p>地震が発生すると通学路のブロック塀が気になるので、通学路の緑化が進むと子どもが通学する際に安全で良いと思う。また、アスファルトばかりで暑いので、緑化が進むと良いなと感じる。街路樹については、綺麗な場所でも電線があると景観が悪い。そうした場所では電柱が埋まっていると良いなと思う。</p> <p>それぞれの方が、それぞれの立場で出来ることは色々ある。食育の観点から言えば、今私は自宅のプランターでゴーヤ等の野菜を育てている。それを子どもたちが収穫し、調理する。このような小さな緑化であれば、子育てをしながらでも提案していけるものだと思う。</p>
<p>松本会長</p>	<p>電柱について、日本は遅れている。恥ずかしいと思う。是非、電柱の地中化を推進していただきたい。</p> <p>通学路の緑化について、街路に木が植えてあれば、ガードレールと同じような役割も果たしてくれると思う。可児市は子ども100当番の家の発祥地。緑化を含め、子育てし易い環境がさらに整うと良い。</p>
<p>長瀬委員</p>	<p>可児駅周辺について、多くの木々が切られている。緑化と言う割には、どうなっているのかなと思う。木々が大きくなると管理が大変だとは思いますが緑が少ないことが心配。自由通路も立派なものが出来ているが、古い駅舎とのバランスが取れていないように感じる。写真を撮ろうとは思わない。自由通路は今後、広く市民に公開して作品等が展示できる場所になると良い。アーラの展示室は1年先まで埋まっている。可児市民が展示等をする場所として活用されると良い。</p> <p>看板には、営業用の看板だけでなく道路案内表示や工事中等の看板もあるが、単に置かれているだけの物もあり安全上心配だなと感じることがある。</p>

松本会長	<p>犬山に向かう国道41号線沿いはゴミが散乱しており、非常にみっともない。土田で田んぼを営んでいるが、ゴミが捨てられることが多く後処理に困っている。</p> <p>カナダに旅行をした際、川の中に噴水があり、非常に綺麗だった。市役所の北側にも同じようなものがあると良いなと感じた。</p> <p>駅の周辺について、立派な木々が無くなることは残念だと思う。写真を撮れるような美しい景観をつくっていくことが大切。</p> <p>今現在、木曽川左岸は面白い計画が進んでいる。可児市の特徴的な部分になっていくと思う。</p>
橋本委員	<p>生まれも育ちも可児市で、良い街だなと感じている。長年暮らしているため、特段景観を気にすることも無ければ違和感を覚えるようなことも無いが、1つあげるとすると、皆様がお話されたように街路樹等の緑が少ないのかなと感じる。花いっぱい運動等、若干形骸化している部分があるとはいえ、自治会単位でコミュニティとしてゴミ拾いをする、草を抜くといった意識は高いほうだと思う。先程、昨年度の活動報告をしていただいたが、小学生と景観についての話をする場を設けることは良いことだと思う。普段どうしても車を使いがちだが、普段歩いている子どもたちの目線、見え方は違うと思う。そうした小学生、中学生の子どもたちが「こんな街が良いよね」といったことを話し合える場所を持てれば、そこから意見を吸い上げて、皆でまちをつくっていける環境になっていくと思う。青年会議所として学生ボランティアを集うことがあるが、可児市の学生は毎回非常に多く参加を希望してくれる。可児市の学生は非常に意識が高いと感じている。そうした子どもたちから意見を吸い上げても良いかもしれない。</p> <p>空き家が放置されると景観の悪化に繋がる可能性があるため、対策が取れると良い。</p>

<p>松本会長</p>	<p>住民意識が高いという心強いお話があった。私もそう思う。地元の意識が高い地域なので、どうマネジメントしていくのが課題。空き家については全国的な問題。空き家が観光に繋がると良い。特徴のある空き家をピックアップする等して対策出来ると良い。</p>
<p>可児委員</p>	<p>屋外広告物の申請件数を見ても、かなり皆様の理解が進んでいるのかなと感じる。新規の申請が30%増えているし、簡易除却の件数については10年間で5分の1程度まで少なくなっている。広告主、設置業者等、看板に携わる者の意識が確認されているのを感じる。</p> <p>許可更新の際には、全国で安全点検に関する資料添付が必要となっている。現状付いている看板について再確認する良い機会になっている。未然の事故防止に繋がっていると感じる。</p> <p>景観に関しては、一方通行の話ではなく、行政を含め全体で設計していく、考えていく必要があるのかなと思う。</p>
<p>松本会長</p>	<p>可児市の特徴としての広告規制・誘導等をしていくかどうか。広告美術協同組合としての要望が景観計画の中に反映できれば、可児市の特徴が出てくるかもしれない。必要があれば、可児市独自の屋外広告物条例をつくっていただくことになる。いずれにしても、岐阜県全体としてではなく、可児市としてのスタンスが生まれてくると良いと思う。</p>
<p>義村委員</p>	<p>街路樹について、先程景観上良いというお話も出ていたが、大きくなりすぎており緊急輸送道路等には適さない。行政主導で新しい木に植え替える等していくことも必要。その中で市民の皆様も景観に対して積極的に関わっていけると良い。また、全体で緑化を行うことは困難かもしれない。箇所を絞り込み、お金をかけて行なえると良い効果が出ると思う。</p> <p>リニア新幹線が大萱を通る。地上に出るため、景観審議会で審議すべき事案として今後あがってくるのだろうか。それを観る</p>

	<p>公園が造られれば、可児市の観光にとって良い物になるのではないだろうか。</p> <p>街中の市民がよく通る場所はゴミが落ちていないが、国道 41 号線、国道 248 号等大型トラックが通る道は、一晚経つだけでゴミが散乱する。トラック組合等がボランティアに参加をしていくことで、ゴミが減っていくと良い。</p> <p>ブロック塀について、元久々利景観形成重点地区内にある土塀の耐震性が気になった。景観的には良いが、建築として安全性が気になった。</p>
松本会長	<p>リニアの問題については、市に話が来ているはず。いかに上手く利用するか、利用することが出来るか、ということだと思う。緑も電柱も可児市全体で実施することは難しい。重点的に実施していく箇所について、市としての方針を出してもらう、或いは審議会として提言することが出来ると良い。</p>
林委員	<p>違法、違反看板に対する罰則をどのように行うのか、非常に難しい問題かと思う。</p> <p>太陽光発電について、線路沿いの田んぼ一面に太陽光パネルが設置されるようになると大変。農業の跡継ぎも少なくなっており、太陽光パネルが設置されるのではないかと危惧している。</p> <p>新幹線に乗られると気づかれると思うが、浜松の養鰻池であった場所が一面太陽光パネルになっている。景観上もよろしくない。現行法では難しいため、市民の力で何とかしていきたい。</p> <p>各家庭の生け垣について、大きくなると小学生が傘をさして通学路を通れなくなる。高さの制限ではなく幅の制限をしてほしいというお話をしていたが、各家庭のご理解もあり、現在は幅を狭めていただけた。その中で、先般発生した地震の影響でブロック塀が問題となっている。いずれにしても、子どもたちが安全に通学出来る形になると良い。他にも雑木等の問題もあるが、1つでも解決できることができればより住みやすい環境になっていくと思うので、今後ともご指導をお願いしたい。</p>

松本会長	看板について、既存の物に対する規制は難しいと思う。また、地域にあった看板というものもあると思う。
亀井副会長	<p>景観計画策定から約10年が経過し、可児市の街並みは随分変化してきた。日々の暮らしの中ではなかなか気づかないかもしれないが、写真を比較すると変化がよくわかる。10年の中で景観計画が機能してきたかどうか、ということについて考えると、私はある程度は機能してきたと思う。この計画が無ければ、守られなかった環境もあるはず。全てが上手くいったとは申し上げないが、上手くいったところはあると思う。ただ、運用をしていく中で使いにくい部分が出てきていると思うし、そうした箇所をチェックしていただき手直しを加えていくことは必要。元々のこころの景観というこだわりは、持ち続けなければならないと思う。なぜ「こころ」なのか。初めて景観について考える方に説明するとき「私たちは食べ物を食べて、その食べ物の中にある栄養によって身体が育まれる。それと同じように、私たちは街並みを見て、そこに含まれている景観を見ることによって心を育くむ」という話をします。人間が外界から得る情報の約85%は目からのもの。私たちは、自分たちが住んでいる環境を毎日見ている。それが良ければ、心が育まれる。良くなければ、育まれない。周りの栄養素をどのようにしていくのか、それが景観。百聞は一見にしかず、という言葉がある通り、見るということは非常に大事。部屋の中、外に関係なく私たちは日々の暮らしの中で様々な物を見て、否応無く全ての状況を自分の心に反映させて生きている。こころの景観という可児市景観計画が最初にこだわったものは、景観計画を見直ししていく中においても頑固に維持していただきたい。</p>
松本会長	こころの景観は大切な言葉。珍しい理念だと思う。是非守っていきたい。美しい心を感じるのが、景観の美しさ。

林委員	<p>50年ほど前に多治見青年会議所の一員だったとき、土岐川を綺麗にするためのキャンペーンを行なった。鮎を放流することを提案し、鮎を放流するため県の漁業組合や県庁の河川課に足を運んだ。試行錯誤の後、鮎の放流を行うことが出来た。現在土岐川は大変綺麗になっている。こうした取り組みも、綺麗にし、環境を整備していく上においては必要なことだと思う。</p>
松本会長	<p>可児市と広域的に連携出来る部分があって良いと思う。景観であれば可能だと思う。地域景観、景域という観点から考えていく必要もあるのではないかな。</p>
伊藤副会長	<p>緑を増やしましょう、という意見が多数出た。大変心強いなと思う。では、実際なぜ進んでいないのか。街路樹も市役所や事業者が勝手に切る訳ではない。所有者や周辺住民からのご要望の結果となっている。緑は大切、緑は良いもの、というお話をすると大多数の方が賛同される。しかし、現実には緑を増やすということを考えると、どのような緑をどのように増やすのかということを含め全く合意形成が成されていない。実際に行動に移さなければ緑は増えない。緑を増やすことが良いことなのかどうか、ということを含めて皆さんと考えられる雰囲気を作らなければ緑の問題は解決しない。皆様と知恵を出し合い、緑豊かなまちづくりに繋げていけると良いと思う。</p>
松本会長	<p>本日出た意見を市でまとめていただき、今後のテーマ、具体案を出していただきたい。来年度に向けて、景観計画を更新する形、心の景観を守りながら具体的にどのように行なっていくのかということについて検討いただきたい。いくつかキーワードをピックアップして皆様と審議出来ると良い。</p>
杉山係長	<p>本日皆様の意見を聞き、10年が経過した今景観計画を見直ししていくことが必要だと感じた。本日は行政として抱える運営上の課題についても皆様に聞いていただきたい。</p>

川原	10年という年月の中で、運営上の課題も出てきている。届出に対する審査上の問題点や届出対象外の行為に対する働きかけ方等、事務局としても改良したい部分がある。
松本会長	運営上の課題に対する対応策等については、事務局から提案を出していただき審議したい。
杉山係長	市の審査として開発基準協議等もある。それらを含めながら、市の運営方法を検討していきたいと思う。
協議第2号 屋外広告物適正化旬間の活動について	
松本会長	協議第2号の議事について 事務局へ説明を依頼した。
杉山係長	協議第2号 屋外広告物適正化旬間の活動について を説明した。
長谷川委員	県と協同で行う啓発事業について、日時の連絡等はしていただけるのか。
川原	正確な日時が決定次第、皆様にもご案内をさせていただく。
松本会長	進行を事務局に返した。
その他	
杉山係長	非常に多くのご意見を頂きました。ありがとうございました。
渡辺課長	(閉会を宣言)